

# NORTH LIBRARY



兵庫県立加古川北高等学校  
図書館だより  
第3号  
令和4年6月23日発行

## 見つけよう。最高の一冊。

第1回図書委員会の中で、今年度のテーマを考え、「見つけよう。最高の一冊。」に決まりました。部活動が忙しい…課題に追われている…塾の宿題もしなければ…毎日忙しい人にとっては、本を読む人は「暇な人」に映るかも知れません。果たしてそうでしょうか？忙しいからこそ、いろんな人との出会いはなくて、多様性の時代と言われながら、毎日出会っている人は、どちらかという、同じような価値観をもった人ばかりになりがちです。でも、本を読めば、著者や登場人物と、会話できます。いろんな価値観への「出会い」があります。忙しくて、新たな出会いが少ない人こそ、生活の中に読書の時間を取り入れましょう。あなたの人生を豊かに導いてくれるような、最高の一冊を見つけよう。



2年7組 川邊はづきさん作 (図書委員)

### 【今月の新着図書】

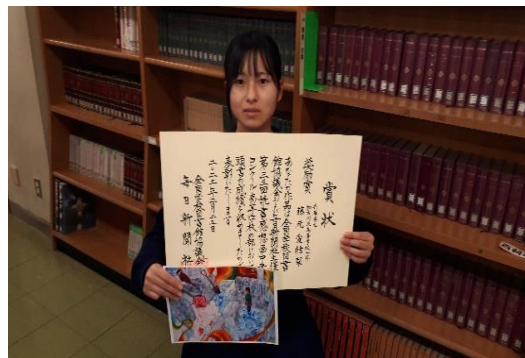
<p>科学的にデータを引用し、「小さな習慣」こそが「大きな変化」をもたらすことを説く、潜在意識の法則の本質を解明した本</p>	<p>思い出の景色が家族の根源にあるものを引きずりだす。50万部突破の『推し、燃ゆ』に続く宇佐見りんの傑作</p>	<p>一家は不思議な力を持つ「カザアナ」と出会い、人々を笑顔にする小さな奇跡を起こしていく。興奮とサプライズに満ちた作品</p>	<p>「左利き」は天才？それとも…変人？万人の脳をみた名医が、最新脳科学ではじめて明かす10人に1人の「選ばれた才能」とは</p>	<p>本屋大賞受賞『そして、バトンは渡された』の著者、瀬尾まいこの新たな代表作！音楽と人が生み出す、たしかかな希望の物語</p>

<p>10歳で建築家を志し、国内外で多数のプロジェクをてがける今注目の建築家が建築知識満載で綴る10代へのメッセージ</p>	<p>小さな頃から生き物が大好きで、様々な動物を飼っていた著者は、中2の時、骨に興味を持つ。骨から始まったストーリー</p>	<p>実は、脳はうぬぼれやすいのだという。毎朝100~200本の学術論文に目を通す人気脳研究者が脳と科学の最新知見をつづる</p>	<p>元国連専門機関職員で、海外居住・就業経験も豊富な著者が、日本の新聞やTVではわからない「世界と日本の真実」を紹介</p>	<p>25万部突破の大人気シリーズ第3弾「世界はそんなことになってたのか!」日本のメディアが報道しない驚きのニュース</p>
<p>南海トラフ巨大地震が予想されている今、災害に備える必要性に迫られている。備蓄食材を使った災害時レシピを紹介</p>	<p>いつもの生活に防災という視点をプラスして、最低限必要なものを家族で準備できるよう、おうち備蓄リストをまとめた本</p>	<p>シリーズ累計460万部最新刊。えっ!?自分、「夢」がないや?ほな「夢の見つけ方」教えたら?夢ゾウシリーズの原点「0」</p>	<p>城跡の発掘調査、絵図・地図ど分野横断的に「城」をもとに歴史を研究する「城郭考古学」。その成果を第一人者が語りつくす</p>	<p>「地政学」がわかれば、ニュースの裏側、国同士のかけひきが見えてくる。会話形式で「地政学」が楽しく学べる本</p>
<p>同じ出来事が偶然重なる体験を観察。法則から未来の出来事を予知する秘術、願望が実現する「偶然」のパワーを紹介</p>	<p>質問をすることは、人間がもっている最も重要な知的ツール。大切な質問づくりのスキルが容易に身につけられる方法を紹介</p>	<p>おもしろくてためになる、天気まつわる知識を、今回は図解やイラスト、写真をふんだんにつかって詳しくご紹介</p>	<p>秦連合軍、決戦の地へ! 趙は、復讐した李牧の策で、秦の進攻に待ったをかける。趙の歴史に終止符を打つべく、秦軍が目指すのは…!?</p>	<p>世界中から集めた激カワにゃんこ写真に四字熟語が組み合わせられるとあら不思議。厳めしい漢字の羅列がユーモラスに</p>

				
<p>ハジメはさらに数学の世界に入り込んでいく。世界の見え方が変わってくる、数学をちょっとやりたくなる、ワクワクする成長物語。8～10 入荷</p>	<p>アートの歴史や可能性を詳細に活写、美大に進学した青年たちの情熱や奮闘を描く。TV アニメ化も決定した超話題の美術系青春漫画。11、12 入荷</p>	<p>圧巻の 50 枚以上のカラー分布図で日本語の謎を解き、方言の豊かさを描き出す。知的興奮とともに、ふるさとの言葉の懐かしさを味わえる</p>	<p>第一線で活躍する料理研究家たちがレシピをエッセイとともに紹介し、さまざまな悩みを解決するための糸口を見つけるキッカケを提示する</p>	<p>十七歳、誰もまだ「文豪」じゃなかった——有名な作家たちの十代はどんな生活をしていた？その決断を、当時の日記や創作とともに紹介</p>

第 33 回読書感想画中央コンクール（全国大会）奨励賞受賞

2 年 5 組 藤元 愛結菜さん



『コンビニ人間』（著者 村田沙耶香）を読んで

「いらっしやいませ！」私は叫ぶ。主人公は、コンビニ店員として働き、「普通」ではない自分に生きづらさを感じている。「多様性を尊重しようとする社会」と「主人公を取り巻く境遇」との矛盾。ポップで明るい雰囲気とは裏腹な、主人公の、機械的で無機質な内面とのギャップ。そのような自分自身を受け入れて認めていく過程を描きました。私が読了後に受けた衝撃をそのまま落とし込み、インパクトのある絵にしてみました。



第 155 回芥川賞受賞。20 カ国で翻訳決定。この機会に読んでみては？

第 1 回校内ビブリオバトル（6 月 27 日）を実施しました。

『15歳のテロリスト』『空想科学読本 11』の 2 作品がチャンプ本となりました！！



- ① 『西の魔女が死んだ』（梨木香歩） 福本陽菜さん
  - ② 『JK. インドで常識ぶっ壊される』（熊谷はるか） 菅 桐吾くん
  - ③ 『15歳のテロリスト』（松村涼哉） 山本隆博くん
  - ④ 『転生したらスライムだった件』（伏瀬） 辻本 睦くん
  - ⑤ 『銃・病原菌・鉄』（ジャレド・ダイヤモンド） 金尾真樹斗くん
  - ⑥ 『空想科学読本 11』（柳田理科雄） 高橋 悠さん
- ★どの本の得票数も大接戦でした。最高得票数が 2 作品同数につき、どちらもチャンプ本となりました。

【 参加者の感想 】

☆6 冊の本、すべてに興味を持ちました。吸い込まれるように聞き入ってしまい、本当にすべて読みたくなりました。すごく幸せな時間でした。  
 ♥中学校でした時と違って、とても本格的で、驚きました。それぞれが本の魅力を熱心にアドリブで語っているのがすごく新鮮で、聞き応えがあって、参加してよかったと思います。雰囲気がよくて、また参加したいと思いました。  
 ○みなさん、不慣れながらも、頑張っていて、その勇姿に感動しました。すごかったです。私は、小説以外あまり読みませんが、歴史の話に引き込まれました。本は、本ごとに違う世界観があっいいですね。  
 ♣どの人も、本に対する熱量がすごいなと思いました。声のトーンや話し方、表情や身振り手振りなど、すべてがみんなに話を聞いてもらおうという思いが感じられ、引き込まれたし、全員、聞いていて本当に楽しかった。  
 ♠とてもいい時間でした。最近、あまり本を読めていなかったのに「読まない」と思いました。  
 ♥一人一人が、紹介している本が好きだ！という思いが伝わってきて、聞いている私たちも笑顔になることができ、やっぱり本はすごいなと思いました。